

西部幼稚園に 二輪車を寄贈

羽島市2社と岐阜信金

J-PRoach(羽島市)、東海リフォームサービス(同市)と岐阜信用金庫は12日、同市福寿町の西部幼稚園にペダルとブレーキがなく足でスピード調整する二輪車4台と駐輪ラックを寄贈した。

発行額の0・1%に当たる金額を、発行企業の意向を踏まえて寄付する「ぎふしんSDGs私募債(子育て支援型)」を活用。同園

のリクエストにより、バランス感覚を養うとされる二輪車が贈呈された。

贈呈式では同金庫の光崎修専務理事が同市の森嘉長教育長に目録を手渡した。

式には年長児15人も参加し、目の前に二輪車が登場すると「やったー」「かっこいい」と歓声が上がった。その後、園児はさっそく

二輪車に試乗。バランスを崩し転倒する園児も見られたが、すぐに乗りこなし初乗りを楽しんだ。木全我空ちゃん(5)は「乗れて楽しかった」と話した。

同園は障害の有無にかかわらず共に学ぶインクルーシブ教育を推進しており、光崎専務理事は「この理念に賛同して寄贈先に決めた」と話す。(佐合千子)



寄贈された二輪車を試乗する園児たち＝羽島市福寿町、西部幼稚園